

会議の名称	第5回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会
開催日時	令和7年10月28日(火) 午前 ・午後 3時00分から 午前 ・午後 4時40分まで
開催場所	児玉総合支所 会議室A・B
出席者	<p>(委員) 下野戸会長(本庄市教育委員会教育長)、笠原委員(本庄市教育委員会事務局長)、門倉委員(本庄市スポーツ協会副会長)、高橋委員(本庄市スポーツ少年団本部長)、清水委員(神流川スポーツクラブ)、高月委員(藤田小学校校長)、根岸委員(本庄東中学校校長)、手島委員(本庄西中学校校長)、飯島委員(本庄南中学校校長)、小林委員(本庄東中学校部活動担当者)、田島委員(本庄西中学校部活動担当者)、玉置委員(本庄南中学校部活動担当者)、大木委員(児玉中学校部活動担当者)</p> <p>(事務局) 西田学校教育課課長、櫻井学校教育課指導主事兼課長補佐兼指導係長、田中学校教育課指導主事、松澤生涯学習課課長補佐兼公民館係長、飯川スポーツ推進課課長補佐兼スポーツ推進係長</p>
欠席者	<p>(委員) 瀧澤委員(児玉中学校校長)、市川委員(本庄市文化団体連合会会長)</p> <p>(事務局) 野口生涯学習課課長、折茂スポーツ推進課課長</p>
議題 (次第)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実証事業における各中学校の地域クラブ活動及び今後の方針について 4. 指導・助言 <p>地域スポーツクラブ活動アドバイザー 小出利一氏</p> 5. その他 6. 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・座席表 ・資料「地域スポーツクラブ活動体制整備事業を活用した本市の取組」 ・地域スポーツクラブ活動アドバイザープロフィール

	・資料「地域クラブ活動展開について一緒に学ぼう」
その他特記事項	本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱第8条の規定により、会議を公開とする。
主 管 課	教育委員会学校教育課

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局（田中）	<p>皆さんこんにちは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日は、ご多用中のところ、本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、学校教育課の田中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。開会の前に、本日お配りいたしました資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の次第 ・委員名簿 ・座席表 ・資料「地域スポーツクラブ活動体制整備事業を活用した本市の取組」 ・地域スポーツクラブ活動アドバイザー 小出利一様のプロフィール ・資料「地域クラブ活動展開について一緒に学ぼう」 <p>お手元の資料はよろしいでしょうか。また、本協議会は本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱第8条により、公開となっております。本日は傍聴人の方はおりませんが、御承知おきください。</p> <p>それでは、ただいまより、第5回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会を開会いたします。お手元の次第に沿って進行させていただきます。</p> <p>はじめに、本庄市教育委員会下野戸教育長より挨拶を申し上げます。</p>
下野戸会長 （教育長）	<p>改めましてこんにちは。本日はお忙しいなか、第5回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会に御参加を頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本市といたしましても、これまでも部活動についてどのように進めていくのかということにつきましては、子どもにとって何が</p>

	<p>一番良いのかということを軸にしながら考えてまいりました。</p> <p>本日は、これまで準備を進めてまいりました部活動の地域展開が少しずつ動き始めましたので、そのことについて事務局より報告がございました。</p> <p>また本日は、地域スポーツクラブ活動アドバイザーである小出利一様にお越しいただいております。お話を伺っておりますと、全国を飛び回って御講演をされたり、アドバイスをされたりしておられるとのことで、やはり全国的に喫緊の課題で、どこの市町村も、どのようにしたらよいのか頭を悩ませているところだと思います。</p> <p>そういった高いお立場、あるいは広い識見を是非、アドバイスを頂きまして、本市も進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局（田中）	<p>ありがとうございました。それでは、これより議事に入らせていただきます。本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会設置要綱第5条第1項により、議長を会長にお願いいたします。</p>
下野戸会長 （教育長）	<p>御指名を受けましたので、議長を務めさせていただきます。</p> <p>それではこれより「3. 議事」に移らせていただきます。はじめに、（1）実証事業における各中学校の地域クラブ活動及び今後の方針について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（田中）	<p>それでは配付資料の「地域スポーツクラブ活動体制整備事業を活用した本市の取組」を御覧ください。</p> <p>まず、今年度の取組について改めてご説明させていただきます。1 ページを御覧ください。今年度は県の実証事業を活用いたしまして、休日の学校部活動を対象に地域クラブ活動を実施してまいります。対象部活動はこちらに記載しております、各中学校それぞれ1部活動で行います。実施時期は10月から1月、指導者については公募を行いました。</p> <p>次に、2 ページを御覧ください。指導者及び参加生徒数についてでございます。指導者につきましては、教員や部活動指導員、外部指導者を中心に合計9名の方が、対象部活動の参加生徒数につきましては、ほぼ全部員から申込みがあり、参加生徒数は4中学校合計で65名となっております。</p> <p>3 ページを御覧ください。9月に顧問の先生及び指導者、対象部活動の生徒及び保護者に向け、説明会を実施し、本市の地域展開に向けた取組の概要を説明いたしました。</p> <p>4 ページから6 ページにつきましては、説明会のときに多かった質問等を載せております。特に、受益者負担については、どの</p>

	<p>学校の保護者からも質問がございました。</p> <p>7 ページを御覧ください。今後の方針についてでございますが、令和 7 年度の実証事業のアンケート等を実施いたしまして、成果と課題を検証しながら、令和 8 年度は実証事業における対象部活動を拡大していこうと考えております。</p> <p>本日は、地域スポーツクラブ活動アドバイザーである小出利一様にも出席して頂いておりますので、御指導・御助言を頂きながら、本市の実情に合った地域展開を進めてまいりたいと考えております。事務局からの説明は以上でございます。</p>
下野戸会長 (教育長)	ただいま事務局から説明がありましたが、御質問・御意見がございましたら御発言をお願いできればと思います。
高橋委員 (本庄市スポーツ少年団)	<p>4 つの中学校で各 1 つずつ、4 つの部活が移行されておりますが、これらの受け皿がどこになったのかを教えてください。</p> <p>例えば、先生がクラブを受け入れたのか、もしくは、スポーツ団体がクラブを受け入れたのか、もしくは、全く関係なく公募で受け入れたのか、その内訳を教えてください。</p>
事務局 (櫻井)	東中学校の剣道クラブについては、顧問の先生が 1 人と大学生の外部指導者です。西中学校のバスケットボールクラブは、2 人とも顧問の先生です。南中学校の体操クラブは、部活動指導員が 1 人と外部指導者が 1 人です。この外部指導者は体操協会の方です。児玉中学校の体操クラブは、顧問の先生と外部指導者です。この外部指導者は元教員で、部活動指導員もやられた方で、体操協会にも所属しております。
下野戸会長 (教育長)	募集の方法はどのようにされましたか。
事務局 (田中)	市のホームページにも掲載し、申し込みを受け付けまして、申し込みされた 9 名の方に指導者としてお願いしました。
門倉委員 (本庄市スポーツ協会)	謝金についてはどのようになっていますか。
事務局 (田中)	謝金につきましては、県費からお支払いしておりまして、1 時間 2 千円でございます。
高月委員 (藤田小学校)	説明会での質問事項に、来年度に向けての方向性について記載がありましたが、小学生が部活動を選ぶ際に、来年度に向けて、どの段階でどのような方向性になるのかが決まるのかということと、それを保護者に向けて、子どもたちに向けて、どのようにアナウンスしていくのかを教えてください。
事務局 (田中)	来年度に関しましては、今年度の実証事業を踏まえてというこ

	とで、現段階では対象部活動を広げていくことを考えております。保護者や子どもたちに、どの段階でということにつきましては、具体的には決まっておりませんが、次回の検討協議会でもいろいろな御意見を伺いながら、国の実例をお伝えできればと思っております。来年度に向けては、休日の部活動という形で進めておりますが、学校の部活動自体がすぐになくなるものではございませんので、そういった時期も含めまして今後検討してまいりたいと考えております。
下野戸会長 (教育長)	始まったばかりですので、まだ回数はいっていないと思いますが、実際にやってみて、子どもたちの声や顧問の先生の声はどうか。
根岸委員 (本庄東中学校)	東中学校は10月から動いていて、まだ1回だけです。
飯島委員 (本庄南中学校)	南中学校は体操で、部活動指導員の方と体操協会の方がおりますが、ずっと部活に携わって頂いておりますので、休日の活動もすんなりできているのかなと思います。スムーズにできていると思っております。
下野戸会長 (教育長)	ありがとうございます。その他に御意見はございますか。 (意見なし) ないようですので、議事につきましては以上とさせていただきます。貴重な御意見を頂き、ありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しします。
事務局(田中)	次に、「4. 指導・助言」に移らせていただきます。本日お越しの小出利一様よりお話を頂きます。小出様はスポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザーとして、プロフィールにもありますとおり、多くの県や地域で御講演などをされており、御活躍されております。本日は御多用のなか、本市の協議会に御出席を頂きました。 それでは、小出様、よろしくお願いいたします。
小出利一氏 (地域スポーツクラブ活動アドバイザー)	皆さんこんにちは。ほとんど毎週のようにどこかに行っておりまして、先週は熊本県大津町に、この後は、宮城県、秋田県、北海道に行きまして、ほぼ47都道府県のいろいろなところに呼ばれて行っております。自分だけが呼ばれているわけではなく、スポーツ庁の地域スポーツクラブ活動アドバイザーは現在13名おります。令和5年度の時は6名でスタートし、昨年度は11名となり、今年度は13名になりましたが、人数が倍以上になったにも関わらず、呼ばれて行く回数は今年が一番多いです。それだけ

	<p>動いているのだなあという印象があります。</p> <p>～～ 以降、「地域クラブ活動展開について一緒に学ぼう」の資料に基づいて講話（65分） ～～</p>
事務局（田中）	小出様、ありがとうございました。折角の機会ですので、皆さまからお聞きしたいことなどはございますか。
門倉委員 （本庄市スポーツ協会）	やはり、小出先生のような強く引っ張っていくような方がいないと、行政や学校だけではなかなか進まないという印象が強いが、いかがでしょうか。
小出利一氏 （地域スポーツクラブ活動アドバイザー）	<p>幸いにして、学校に行くチャンスが自分は多かったです。少年団の指導者としても学校に行っていましたし、大学をリタイアした後も、時間があれば学校の先生のサポートをしていました。水泳にしても、特別支援学校の体育の授業にも行っていました。先生が大変だということも、小学校も中学校も行っているからよく分かるのです。</p> <p>地域側の人からすると、学校には見えない壁があって、地域が入りづらいと感じています。学校運営協議会ができて入りやすくなったこともあって、私だけでなく結構入ってきています。例えば、中学校の授業で、ファイナンスの授業はファイナンスの専門家が来ていたり、先生方の健康管理についても、看護師が来ていたり、そういうふうにして地域の人が学校の授業に携わることを学校運営協議会で決めています。</p> <p>学校運営協議会を有効に使えばいいと思います。自分ひとりではできないので、いろいろな方の協力があって今できていますので、そういった環境を学校運営協議会で作るのがいいと思います。正直、学校運営協議会を使い始めてからのほうが、スピードが圧倒的に速かったです。</p>
飯島委員 （本庄南中学校）	ここの地域は本庄市だけでなく、郡があって、町がありますが、例えば、市だけでなく、町と一緒にできてきている事例はありますか。
小出利一氏 （地域スポーツクラブ活動アドバイザー）	<p>ございます。人口がすごく少なくて、面積もすごく広いところは日本中どこにもありまして、長野県南佐久郡は、2町4村で面積がすごく広いですが、中学生の数は全部合わせても200人、300人いない位です。郡としてやりとりしています。郡の教育長が皆で協力し合って、教育長だけでなく、首長も協力し合って活動しています。そのようにして部活動の地域展開をしています。</p> <p>群馬県も6月に、吾妻郡の関係者を連れて南佐久郡に視察に行</p>

	<p>き、吾妻郡もこういう方法がいいのではないかと提案したら、やはり吾妻郡の皆さんも、それしかないという感じになりまして、今は吾妻郡もそのような動きをしています。利根郡の場合も同様です。</p> <p>反対に、高崎市や前橋市のような大きな市になると、一つだけでは賄えないですよねということになります。合併しているため、前橋市は、まちづくり公社が行っていますが、前橋市の担当者からすると、そこが全部できますかという話になっています。富士見や粕川など離れたところは、ここ一か所だけでできますかという問題があります。全国でもいろいろな例があります。</p>
小林委員 (本庄東中学校)	新町スポーツクラブでは、先生方で部活動支援事業に携わっている方はおりますか。
小出利一氏 (地域スポーツクラブ活動アドバイザー)	<p>野球は1人、バレーボールは3人位います。これは、本人が会員になってバレーボールをやってきて、先生だったので、そのまま指導者になってという形です。</p> <p>つまり、兼業兼職はしていません。自分が楽しいから来るのであって、兼業兼職はしておりませんが、身分として学校の先生という方はおります。</p>
小林委員 (本庄東中学校)	指導者のローテーションはありますか。
小出利一氏 (地域スポーツクラブ活動アドバイザー)	柱となる人はこの人と決めていまして、その人が休む日は別の人がという形にして、バレーボールクラブのなかでやりくりしています。
小林委員 (本庄東中学校)	複数の指導者がいるからできているということですか。
小出利一氏 (地域スポーツクラブ活動アドバイザー)	中学生、高校生、大学生、社会人も一緒に活動していますので、指導できるような人は毎回5～6人います。そのため、1人や2人抜けても何とかなる状況です。仮に、たまたま誰もいない場合には、活動を休むようにっております。誰もいない状態ではやりません。
事務局(田中)	<p>その他に御質問はございますか。</p> <p>(なし)</p> <p>小出様、本日は貴重なお話を頂き、ありがとうございました。</p>

	<p>本庄市の実情にあった学校部活動及び地域クラブ活動の整備に向けた取組に生かしてまいります。</p> <p>次に、「5. その他」でございますが、次回の協議会の日程についてお知らせいたします。次回協議会は来年2月頃を予定しております。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第5回本庄市学校部活動及び地域クラブ活動検討協議会を閉会といたします。本日は、誠にありがとうございました。</p>
--	---